


<p>座間市市民協働課 平成 26.4.30 受付 第 号 (宛先) 座間市長</p>		<p>相互提案型協働事業実施報告書</p> <p>平成 26 年 4 月 30 日</p>	
<p>団体 住所 東京都世田谷区北烏山 3-13-13-406</p> <p>名称 回想法プランニング座間</p> <p>代表者氏名 本間 久子</p> <p>市 担当 課 介護保険課 嶋崎 優</p> <p>所属 長 福祉長寿課 大塚 吉則</p>			
<p>次のとおり報告します。</p>			
1 事業名	回想法を利用した介護予防推進及び、地域ボランティア育成事業		
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業		
3 選考年度	平成 24 年度選考 (平成 25 年度実施)		
4 報告期間	平成 25 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日 まで		
5 事業費	423,383 円 (うち座間市支出分 379,866 円)		
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>初年度と同様、高齢者を地域で支える仕組みづくりの一助となることを目的に、脳の活性化に有効とされる回想法を利用したお話サロンの新規開設およびそのサロンを運営するボランティアの育成を行った。また、初年度開設したサロンのボランティアにも継続的な支援を行うことで、自立したサロン運営を継続できている。</p> <p>まず、新規サロンの開設においては、講座とサロン運営準備会を行い、13名の有志を運営ボランティアとして育成した。そして、彼らが運営の中心となって、座間地区と入谷地区に新たにサロンを開設でき、多くの地域の高齢者に参加していただけた。</p> <p>それから、初年度開設したさがみ野地区および広野台地区のボランティアに対しては、フォローアップのための相談交流会を開催したり、ブラッシュアップのための視察研修を行った。また、サロンにも出向き、アドバイス等を行うことで、スキルアップや不安の解消に努めた。</p> <p>他市からの問い合わせも多く、本事業をモデルとして、同様の事業を行う予定の自治体も出てきている。</p>		
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

相互提案型協働事業評価シート

事業名	回想法を利用した介護予防推進及び、地域ボランティア育成事業
-----	-------------------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアを育成し、新たにお話サロンを2か所開設できた。また、昨年度開設したサロンにも支援を継続し、自立した運営を行っている。これにより、多くの高齢者に回想法を楽しんでいただけたので、本事業の目的は達成できたと考える。</li> </ul>	平成 24 年度より 3 か所のサロンが継続して自主運営できていることから、目的は達成できたと考える。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回想法の概要を理解することを目的とした『基礎講座』の参加者 53 名（定員 60 名）。</li> <li>・サロン開設を視野に入れ、技術の基礎から応用までを習得するための『入門講座』の参加者 26 名（定員 30 名）。</li> <li>・内、13 名の有志をサロン運営ボランティアとして育成し、座間地区と入谷地区に新たにお話サロンを開設。</li> <li>・座間地区は、今後も継続して開催予定。入谷地区は、会場と運営ボランティアの日程の折り合いがつかず、継続は断念。ただし、運営ボランティアの中には、継続の意向を示している方もいるため、今後、別の場所で再開の可能性あり。</li> <li>・昨年度開設したさがみ野地区、広野台地区のお話サロンに対しても、定期的に団体会員や講師が立ち会ったり、視察研修（葛飾区）や相談交流会（2 回）などを行って、運営ボランティアのスキルアップを図ったり、不安の解消に努め、順調にサロン運営を行っている。今後も継続予定。</li> <li>・4 サロンで計 31 名（平成 26 年 1 月現在）の高齢者に参加していただき、回想法を楽しんでいただいた。毎回、笑顔があふれ、生活の活性化や仲間づくりに貢献できたと考える。</li> <li>・同事業に対して、他市からの問い合わせを多数いただいた。埼玉県上尾市からは、職員が講座を見学し、これをきっかけに、当事業と同様の事業を実施する方向で動いている様子（すでに基</li> </ul>	<p>サロンを運営するボランティアが積極的に運営に関わっており、地区社協・地域包括支援センターの協力も得ている。参加者が友人を誘ってサロンに参加する、また、チラシを見て問い合わせされることもあるなど 地域に認知されてきており、良い効果を生んでいると考える。</p>

	<p>基礎講座は開催済み)。また、千葉県八千代市社協からも依頼があり、基礎講座を開催(11月)。その後も、今後の事業展開について、相談を受けている。さらに、東京都府中市からも問い合わせあり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他からの反響として、市内高齢者施設から地域貢献の一環として、回想法を導入するため支援をしてほしいとの依頼あり。また、市内の他の高齢者向けサロンの運営者からも問い合わせ多数あり。</li> </ul>	
--	---	--

## 2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	<p>十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年目ということもあり、目的や目標の共有はできた。</li> </ul>	<p>前年度に引き続き事業を行っており、地域で交流する機会を持つことで、地域住民同士たがいに見守り支えあうという体制づくりを目的とし事業を進めるという共有認識を持つことができました。</p>
	<p>進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頻繁に担当課と報告相談を行い、適宜スケジュールの見直しなどを行うことで、スムーズに事業を進行できた。</li> </ul>	<p>スケジュールに応じて事務協力が概ね円滑にできたと考える。フォローアップ研修の際、予定より大幅に人数が増えたが、団体と協議の上、事前に準備していた会場で開催することができた。</p>
対 等 な 関 係	<p>協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度は、どこまで相談したらいいのかさえ、わからない状態であったが、今年度は初年度よりも、こちらの意向を伝えることができた。</li> </ul>	<p>高齢者の介護予防推進という共通の目的に向け、対等な立場で協議することができた。</p>
	<p>相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業全般にわたって、まず団体側が企画の詳細を考え、それについて依頼やお伺いをたて、担当課はそれを「できる」「できない」の判断をするというやりとりは、初年度とあまり変わらなかった。担当課からも、より効果的な事業が行えるよう、もっと提案していただきたかった。</li> </ul>	<p>質問や依頼に対して、2課で対応していることから即答が出来なかった。できるだけ早く協議し、回答をするよう心掛けた。</p>

### 3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>基礎講座・入門講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>内容設計（テキスト作成含）、講師の招致、ポスター/チラシの作成、回想法ボランティアの養成。</li> </ul> </li> <li>お話しサロン <ul style="list-style-type: none"> <li>事前準備：ポスター/チラシの作成および配布、プログラム作成、話題を引き出す「懐かしい道具」準備。</li> <li>開催中：自立したサロン運営を目指して実践的にボランティアを育成。</li> </ul> </li> <li>フォローアップ事業（相談交流会）／ブラッシュアップ事業（視察研修） <ul style="list-style-type: none"> <li>企画、実施</li> </ul> </li> </ol>	<p>(市の役割)</p> <p>事業の広報（自治会にチラシの回覧依頼など）、受講者・サロン参加者の募集と受付、会場確保。</p>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	・適正であった。	適正であった。
実施結果	設定した役割分担を果たすことができましたか。	
	・概ね役割を果たした。	受講者・参加者受付の際には、係内に周知し円滑に対応できた。会場確保については事前に人数を考慮し、適切な場所の確保に努めた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各イベントにおいて、担当課の課長や担当者に事業の意義や期待を話していただいたことで、運営ボランティアの事業に対する信頼が増すとともに、安心感につながった。</li> <li>お話しサロンの会場として、老人憩いの家（入谷地区）を休館日に利用することを特別に許可していただいた。</li> <li>サロン準備会やフォローアップ事業（相談交流会）において、地域包括支援センターの職員にも参加していただけた。これにより、両者の理解がすすみ、今後の連携がしやすくなった。すでに、あるお話しサロンでは、センターより参加者の斡旋があった。</li> <li>市内外から多数反響があり、座間市、団体両方の知名度向上につながった。</li> </ul>	<p>回想法を用いたサロン開催が行え、地域の社協や自治会とも交流できたことで、市民が互いに意識し合う関係が築けた。</p> <p>市が単独では実施することが困難な部分を、団体の技能・ノウハウをもって事業展開することができた。</p>

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業で立ち上げたサロンへ団体および市双方が今後も適宜支援を継続的に行うことで、定着化を図る。また、運営ボランティアの養成およびお話サロンの増設を図り、市内のすべての高齢者が自力で通える距離にサロンがあるような状態にしたい。</li> <li>・担当課以外にも、社協・自治会・民生委員・包括支援センター等とも連携することで、サロンを高齢者への多角的な支援のきっかけとしたい。</li> <li>・市においても、他市自治体等からの反響が大きいことから、高齢者関係所轄課同士での連携につなげ、高齢になってもいつまでも暮らし続けたいと思えるような座間市になるよう、これからもご尽力いただきたい。</li> </ul>	<p>(市の考え)</p> <p>認知症に関する市民の関心が高まっている中、自主運営しているサロンに対する問い合わせもあり、認知症を理解してもらうための良い結果が生じたと考えられる。地域において地区社協や自治会とも自ら交流できるようになった。</p> <p>回想法の手法を用いたサロン開催が3会場にて月2回行われているので、今後は地域住民の憩いの場となり、自らの参加による集まりになれることを期待する。</p>